

ウィルの CSR 活動のご紹介

介助犬支援活動 2003年～



当社は、2003年に介助犬の育成・普及の支援を始めました。以来、営業拠点に補助犬ステッカーを貼付、募金箱設置、チャリティフリーマーケットの開催、シンポジウムへの協賛やマス媒体への掲載などを行って参りました。2010年からは、不動産のご契約一件につき1,000円または10,000円を寄付する「契約募金」を開始。積み上げた寄付金は、入社式やCSR研修の場に介助犬関係者を招き、直接、贈呈。また、その場で介助犬の仕事のデモンストレーションを行うなど、介助犬への理解を促す活動を行います。「ささやかを続けよう！」を合言葉に、自社が行うCSR活動をどこかの部署の誰かがやっているという他人事ではなく、しっかり理解することを大切にしています。



↑2023年契約分の契約募金は、CSR研修にて新入社員から介助犬関係者へ贈呈しました。(2024.4)



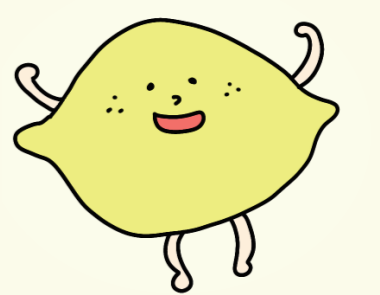
↑CSR研修で介助犬の仕事のデモンストレーションを見る新入社員(2024.4)



↑介助犬の仕事を体感したり、介助犬と触れ合う新入社員(2024.4)



レモネードスタンド活動 2023年～



レモネードを販売する社員(2024年8月)

アメリカで子どもたちのおこづかい稼ぎとして定着している「レモネードスタンド」。これを利用して、ある小児がん患者の少女が、小児がん支援のために多額の寄付を集めました。こうして、レモネードスタンドはおこづかい稼ぎの体験を楽しむだけでなく、集めたお金を小児がん治療のために寄付するという社会貢献活動としても広がりました。当社は、新聞記事でレモネードスタンド活動を知り、社内有志で挑戦。2024年は、地元の4つのイベントに出店し、合計112,784円を寄付することができました。今後も実施予定です。



※1杯200円で販売し、経費を差し引いた売上げ全額を寄付します。